



親園小だより

和

No. 4

令和3年7月20日

親園小学校長 白石 一成

教育目標 自然と文化を愛し、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。 ○自ら学ぶ子ども ○心豊かな子ども ○心身をきたえる子ども

夏休み(7月21日から8月26日)

いよいよ明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。本日の夏休み前の朝会では、「8月27日に全員の元気な顔が見られるように」ということで、「自分の命は、自分で守る」そのために「どんなときでも正しい判断」ができるようにと子どもたちに話しかけました。

なお、夏休みの子どもたちの生活については、各学年から出る「夏休みのしおり」や「夏休み保健だより」や「としよだより」を御一読いただき、今年も子どもたちにとって、安心安全有意義な夏休みが過ごせるよう御協力ください。

また、7月31日から行われる第35回全国小学生女子ソフトボール大会に親園のウィンズが出場します。保護者の皆様や地域の皆様からの物心両面に渡る御支援誠にありがとうございました。子どもたちにとっては、またとない経験です。一日でも多く宮崎のグラウンドに立てるよう応援していきたいと思います。

救急救命法講習会お世話になりました

6月30日の救急救命法講習会お世話になりました。夏休みのプール監視を踏まえた講習でした。婦人消防団の方々をお招きし、人形も3体も用意していただきとても充実したものになりました。

学校現場では、「ASKAモデル」というものがあります。平成23年9月、埼玉県の小学校で、筒田明日香さん(当時6年生)が駅伝の練習後突然倒れ亡くなるという事故がありました。学校にAEDは設置されていたものの使用されることはありませんでした。この事故の教訓からこのような事故が起きた場合の教員向けのマニュアルとして「ASKAモデル」がで運用されています。今回の研修は、心臓マッサージからAEDの使用という内容でした。もちろんこんな場面が来ないことが一番良いのですが、いざという時のためとてもためになる講習会でした。

親園小学校にAEDは、2台あります。職員玄関と体育館に設置してあります。水泳の授業やプール開放の時には、職員玄関のAEDをプールまで持って行っています。



ものづくり教室

6年生は、7月1日にものづくり教室を実施しました。現役の石屋さんを講師としてお招きし、まが玉を作りました。子どもたちの個性が出た、素晴らしい作品ができあがりました。まが玉は、親園小学校の校章にもなっています。

授業の最後に、質問コーナーがあり、「どのようにしたら石屋さんになれるか」をお聞きしました。すると石屋さんになるための専門学校に行くということでした。愛知県岡崎市(御影石の産地)に学校があり、そこに行ったそうです。学校といえどもそこは職人の世界、教えてもらうのではなく、「見て盗む」そうです。但し、見ていただけだと、「なにぼっーと見てんだ」と親方や兄弟子から怒られたそうです。

ぜひ、家庭で過ごす時間が増えるこの夏休みに、子どもたちの将来について、御家庭で話をいただければと思います。

